

無印良品

電気ケトル **家庭用**

型番 MJ-EK5A

取扱説明書

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

保証書付

日本国内専用
Use only in Japan

もくじ	ページ
安全上のご注意	1~3
使用上の注意とお願い	4
各部の名称とはたらき	5
使いかた	6・7
お手入れ	
部品・消耗品について	8
こんなときは	9
アフターサービス	
仕様	10

安全上のご注意

必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明



「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明



は、してはいけない「禁止」の内容です。



は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

△警告

絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。



発火・感電・異常動作によるけがの原因になります。

修理は、お買い上げの販売店、(株)良品計画 お客様室か、ツインバード工業(株)「お客様サービス係」にご相談ください。



本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

水ぬれ禁止

ショート・感電の恐れがあります。



水以外(牛乳、酒、お茶類)のものを入れたり、氷を入れて保冷用として使わないでください。お茶・牛乳・酒・インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、やけどの恐れがあります。焦げつき・腐食・故障の原因になります。

冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障の原因になります。



定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。

コンセントの単独使用

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。また、火災・感電の原因になります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。
けがをする恐れがあり危険です。



乳幼児などに電源ベース接続部をなめさせないでください。
感電やけがの原因になります。



傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しないでください。
湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



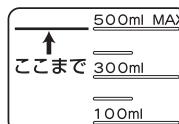
使用中、ふきんなどで蒸気口や注ぎ口などをふさがないでください。
湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。



製品を転倒させないでください。
湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



満水目盛以上の水を入れないでください。
湯がふきこぼれたり、本体の底から湯が
出てやけどの恐れがあります。



⚠️ 警告



接触禁止

沸騰時には電源スイッチに触れないでください。
やけどをすることがあります。



接触禁止

蒸気口や注ぎ口に手をかざしたり、触れたりしないでください。
やけどをすることがあります。
特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。



禁止

直火（ガス台等）や電気ヒーター、電磁（IH）調理器、電子レンジなどに使わないでください。
火災の原因になります。



強制

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



プラグを持って抜く



禁止

本体や電源ベースを落としたり、衝撃を加えないでください。
過熱や異常動作・感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
感電・漏電火災の原因になります。



ぬれ手禁止

電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



禁止

電源ベース中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだりしないでください。
電源プラグに金属やほこりなどのゴミを付着させたりしないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源ベースには絶対に水を入れないでください。
感電・ショートの原因になります。

⚠️ 注意



禁止

専用の電源ベース以外は使用しないでください。また、電源ベースを他の機器などに使用しないでください。
発火・故障などの原因になります。



禁止

ふたを開けたまま湯沸かししないでください。
沸とうしても電源が切れません。



接触禁止

使用中や使用後しばらくの間は、本体とふたが高温になりますので直接触れないでください。
やけどの原因になります。



禁止

湯沸かし中はふたや注ぎ口ふたを開けたり、湯や水を注いだり、移動しないでください。
湯が飛び散り、やけどの原因になります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意



禁止

本体をおいが強いもののそばで使用・保管しないでください。
おいが移ることがあります。



接触禁止

ふたを開けるときにできる蒸気に触れないように注意してください。
やけどの原因になります。



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上、壁やカーテン・火気の近くでは使用しないでください。
火災の原因になります。



禁止

備長炭などの炭を入れて使わないでください。
故障の原因になります。



禁止

水がかかりやすい場所や底部がぬれるような所に置いて使わないでください。
ショート・感電・故障の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



禁止

壁や家具の近くで使わないでください。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。



禁止

直射日光が長時間あたる場所で使わないでください。
故障の原因になります。



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。



禁止

空だきをしないでください。
容器の熱変色など故障の原因になります。



強制

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。



強制

本体は電源ベースの中央にしっかり載せてください。
転倒し湯が流れ出て、やけどをすることがあります。



強制

お手入れは冷めてから行ってください。
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。



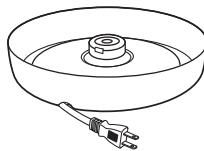
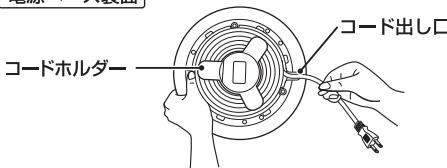
強制

本体を持ち運ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持ってください。
落下したり、湯がこぼれたりしてけがややけどの原因になります。

⚠ 使用上の注意とお願ひ

- 電源コードは、コードホルダーに巻きつけて長さを調整し、電源ベースのコード出し口にはめ込んでご使用ください。

電源ベース裏面

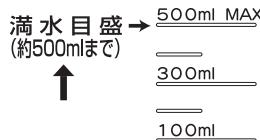
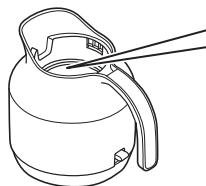


△注意

はめこまないと、傾いて転倒の原因になったり、電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

- 本製品は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。

本製品の構造上、ふたと水位面の間に空間が必要です。満水目盛り以上に水を入れると注ぎ口や蒸気口からお湯が噴き出し大変危険です。



△注意

満水目盛以上、水を入れない。
(水量表示は目安です。)
満水目盛以上水を入れると、湯がふきこぼれたり本体の底から湯が出てやけどの恐れがあります。

- 残り湯は捨ててください。

放置すると変色・腐食の原因になります。

- 本体容器部の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。

「お手入れ」(8ページ)をご覧ください。

汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。

- 本体は電源ベースの中央にしっかりと載せてください。



接続部を確実に接触させないと、電源スイッチを「ON」にしても通電しません。

お願ひ

きちんとセットしても動作しないときは、使用を中止して、電源プラグを抜き、製造元「お客様サービス係」までご相談ください。

〈「カラカラ」音について〉

製品を動かしたときに、「カラカラ」と内部で音がする場合がありますが、弁の音です。
異常ではありません。

各部の名称とはたらき

- 本製品は、本体と電源ベースの分離式になっています。
本体を電源ベースに載せて電源スイッチを入れないと通電しません。
- 空だきをすると、本体内の安全装置(空だき防止機能)がはたらいて、
電源が自動的に切れます。

蒸気口

△注意

お湯が沸くと蒸気が出るのでやけ
どに注意してください。

ふた着脱つまみ

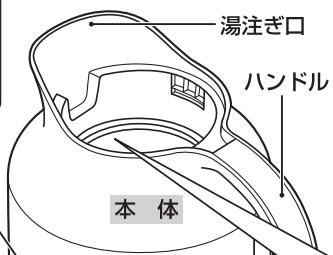
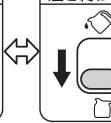
ふた

給湯ロックレバー

注ぐとき



注ぎ終わったら



電源ランプ

(透けて光ります)
湯沸かし中:点灯。
湯沸かし完了:消灯。

本体底面

本体接続部

電源ベース接続部

コード出し口

電源コード

電源プラグ

電源ベース裏面

コードホルダー

電源コードを巻きつけて収納でき
ます。

コード出し口

電源コード
(約1.4m)

フタの開けかた・閉めかた

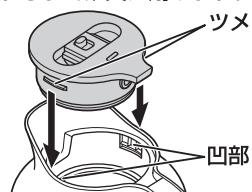
〈開けかた〉

ふた着脱つまみを指ではさみながら
開けます。



〈閉めかた〉

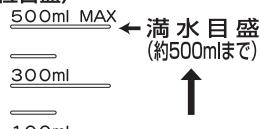
ふたの蒸気口をハンドル部に
合わせ左右のツメが「カチッ」
と音がするまで確実に閉めます。



本体容器

水以外は入れないでください。

〈水位目盛〉



△注意

満水目盛以上、水を入れない。
(水量表示は目安です。)
満水目盛以上水を入れると、
湯がふきこぼれたり本体の底
から湯が出てやけどの恐れが
あります。

安全表示

！必ずお読みください。

電源スイッチ

押し下げると「ON」、湯沸かしが完了
すると、自動的に「OFF」になります。

お願い

- この製品は水を沸かすためのものです。
水以外は沸かさないでください。
- お湯を沸かすときは、必ずフタをしっかりと
閉めて、給湯ロックレバーを「印」にしてく
ださい。

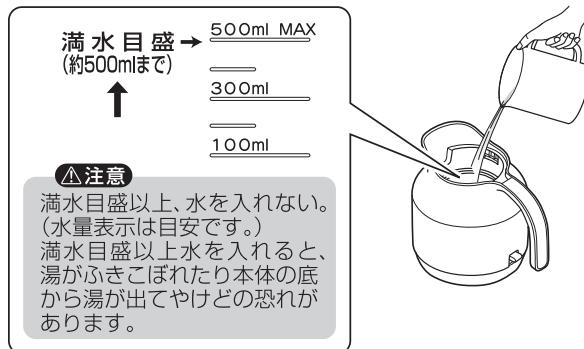
使いかた

- 初めて使うときや長期間お使いにならなかったときは、使用前に容器を水またはぬるま湯でよくすすいでください。
- 初めて使うときは、お湯がにおうことがあります。ご使用とともに少なくなります。気になるときは2~3回沸とうさせた後、お湯を捨ててください。

1.ふたを開けて本体容器に別の容器で水を入れ、ふたを閉めます。

本体を電源ベースからはずし、別の容器で水を必要な量だけ入れます。(満水目盛以上入れないでください。)

ふたをしっかりと閉めて、給湯ロックレバーを「□」にします。



〈空だき防止機能について〉

水が入っていない状態でスイッチを「ON」にすると、本体内の安全装置(空だき防止機能)がはたらいて自動的に電源が切れます。

△注意

- 蛇口から直接水を入れないでください。
- 本体やハンドルに水をかけたり、流し台に置いて底面をぬらしたりしないでください。

2.本体を電源ベースに載せます。

電源ベース接続部と本体接続部を合わせてセットします。
きちんとセットしないと電源が入りません。

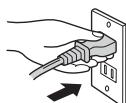


●ふたをしっかりと閉めて、給湯ロックレバーを「□」にしてください。沸とうしてもスイッチが切れない場合があります。

●電源ベースは水平に設置してください。

3.電源を接続します。

電源プラグをしっかりとコンセントに差し込みます。



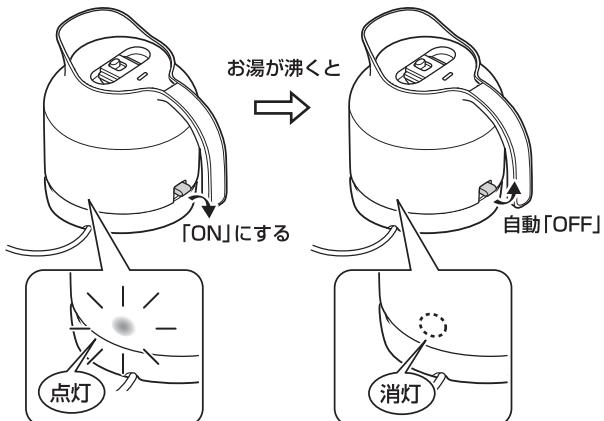
使いかた(つづき)

4. 電源スイッチを入れます。

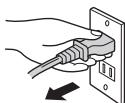
お湯が沸いて、電源が切れます。

電源スイッチを押し下げて「ON」にします。
電源ランプが点灯します。

お湯が沸くと自動的に電源が切れます。
(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消灯します)



5. 電源プラグをコンセントから抜きます。

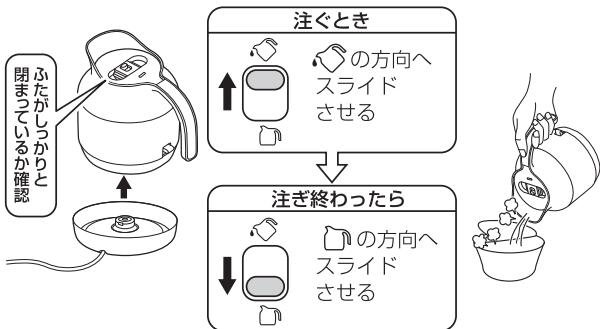


6. お湯を注ぎます。

ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。

本体を、電源ベースからはずします。

給湯ロックレバーを操作してお湯を注ぎます。



7. 使用後は

本体容器内は残り湯を捨てて、空にしてください。

〈湯沸かし時間について〉

水が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって異なります。

湯沸かし時間の目安(23℃の水)

- 500ml…約3分30秒

〈保温機能はありません〉

湯沸かし完了後放置すると、お湯は冷めます。
必要なときに必要な量だけを沸かしてください。

〈湯沸かし中に電源を切りたいとき〉

電源スイッチを押し上げ「OFF」にします。

△注意

- 給湯ロックレバーが閉じた状態でも本体を傾けたり、ゆすったり転倒させたりしないでください。注ぎ口から湯が出てやけどの原因になることがあります。
- 湯沸かし直後にふたを開けないでください。やけどの原因になります。
- 一気に深く傾けて注がないでください。湯が勢いよく出てやけどの原因になります。

お知らせ

- 電気ケトルは蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。そのため、蒸気が本体の底から水滴となってたれることがあります。故障ではありません。
- 湯わかし後、お湯を入れたままにする本体やふたが熱くなりますが、故障ではありません。

お願い

- 本体容器にお湯を残さないでください。放置すると変色・腐食・においの原因になります。
- ご使用後はお手入れしてください。
- 本体容器はこまめにお手入れしてください。

お手入れ

日常、こまめにお手入れをしてください。
お手入れは、必ず電源プラグを抜き、製品が冷めてから行ってください。

- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。
変形の原因になります。
- 洗剤、シンナー、ベンジン、クレンザー、漂白剤、
化学ぞうきん、たわしなどは使わないでください。



本体外側・ふた・電源ベース



よくしぼったふきんなどでふき取ります。

△注意

水洗いはしないでください。
感電・故障の原因になります。

本体容器



容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、やわらかいスポンジでふき取った後、水ですすぎます。

△注意

本体外側やハンドル部に水をかけないでください。
感電・故障の原因になります。

- 容器の変色やにおいの原因になるので、残り湯はすべて、こまめにお手入れしてください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水（ミネラル分が多く含む水）を沸かしたときは、ミネラル成分が付着しやすいため、よりこまめにお手入れしてください。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸で洗浄してください。

〈ミネラル成分について〉

長く使用していると、水に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が容器に付着して次のようになることがあります。

- 白い浮遊物が浮く
- 乳白色、黒点、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点（もらいさび）
- ざらつき

ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯沸かし中の音が大きくなる原因になります。
付着したミネラル成分がはがれて、本体内のお湯や蒸気の出口をふさぎ、故障の原因になります。

〈クエン酸洗浄のしかた（1~3ヶ月に1回が目安）〉 洗浄用クエン酸は、薬局などでお買い求めください。

- ① 本体容器にクエン酸を約30gを入れます。
- ② 水を満水目盛（約500ml）まで入れて沸かします。お湯は入れないでください。
- ③ 沸とう後、約1時間放置します。2時間以上放置しないでください。
- ④ 電源プラグとふたをはずしてお湯をすてます。
- ⑤ やわらかいスポンジで汚れをこすり落とし、よくすすぎます。
- ⑥ 汚れが落ちにくいときは、再度クエン酸を入れて同じ操作をしてください。
- ⑦ クエン酸のにおいをとるために、水だけで通常どおりに再び湯を沸かし、ふたをした状態でお湯をすてます。

長期間使わないとき

お手入れの後、容器や各部を十分に自然乾燥させてください。

虫やホコリなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管してください。

部品・消耗品について

ふたパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。損傷している場合は、
新しいふたパッキンと交換（有償）してください。

交換の際は、製品の品番をご確認のうえ、（株）良品計画お客様室か、ツインバード工業（株）お客様サービス係までお求めください。

ふたパッキンの取り替えかた

〈取りはずしかた〉

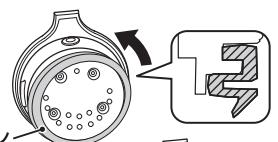
ふたパッキンをはずします。

ふたパッキン
ふたから
はずす

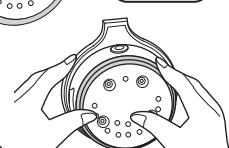


〈取付けかた〉

1. ふたに、ふたパッキン
をはめ込みます。ふたパッキン



2. ふたパッキンは、外周がまんべん
なく均等になるように押さえて、
ふたの外周とふたパッキン内側の
溝をぴったり密着させてください。



こんなときは

修理・サービスをお申しつけになる前に下記の点をお調べください。

こんなときは？	調べるところ	処置
●湯がわかない。	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを「ON」にしてください。
	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せていますか？	電源ベース接続部、本体接続部をきちんと載せてください。 (6ページをご覧ください。)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
●電源ランプが点灯しない。	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを「ON」にしてください。
	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せていますか？	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せてください。 (6ページをご覧ください。)
●沸とうが止まらない。	ふたが閉まっていますか？ ふたがしっかり閉まっていると沸とうしてもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。 (5ページをご覧ください。)
	給湯ロックレバーが「  」になっていませんか？	給湯ロックレバーを「  」してください。 (5ページをご覧ください。)
●沸とうする前に電源が切れる。	空だきしていませんか？ 空だき防止用の安全装置がはたらいて、電源が切れます。	水を入れて、スイッチを「ON」してください。
●注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る。	満水目盛以上の水を入れていませんか？	水を満水目盛以下に減らしてください。 (6ページをご覧ください。)
●湯に白いものが浮く。 ●本体容器が汚れている。 ●壁面がはがれたよう見える。	水アカが本体容器に付着していませんか？	本体容器をお手入れしてください。 (8ページをご覧ください。)
	ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル成分が結晶となり白く見えることがありますが有毒ではありません。	
●湯沸かし時の音が大きくなる。	水アカが本体容器に付着していませんか？	本体容器をお手入れしてください。 (8ページをご覧ください。)
●使用後しばらくすると音がする。	熱せられた部品の冷める音です。 故障ではありません。	
●底から水滴がたれる。	蒸気を感知して電源が切れる仕組みになっています。蒸気が本体の底から水滴となってたれることがあります、故障ではありません。	
	満水目盛以上の水を入れていませんか？	水を満水目盛以下に減らしてください。 (6ページをご覧ください。)
●お湯が臭う。	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	
	初めて使うとき、しばらく使っていなかったときは樹脂などのにおいが移ることがあります。ご使用とともに少なくなります。	
	においが強いもののそばで使用・保管していませんか？ お湯においが移ることがあります。	
	ビニールシートなどの上で使っていませんか？ お湯においが移ることがあります。	
●赤サビ状のはん点がつく。	水の中の鉄分によるもので本体容器の腐食ではありません。 本体容器をお手入れしてください。(8ページをご覧ください。)	

アフターサービス

1.保証書

- 取扱説明書の裏表紙に添付しています。
- 保証書に「お買い上げ日」の記入と「レシート」が貼り付けられているかお確かめください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

- お買い上げ日から1年間です。

3.修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または(株)良品計画お客様室か、ツインバード工業(株)お客様サービス係に修理をご相談ください。

保証期間中の修理

- 保証書の規定により無料修理します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店または(株)良品計画お客様室か、ツインバード工業(株)お客様サービス係までお申し出ください。

保証期間が過ぎている修理

- 修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店または(株)良品計画お客様室か、ツインバード工業(株)お客様サービス係にご相談ください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。
- 性能部品とはその商品の機能を維持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明な場合

下記(株)良品計画お客様室か、ツインバード工業(株)お客様サービス係にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共通化のため、一部仕様や外観色などを変更する場合があります。

販売元 株式会社 良品計画

お客様室 ☎ 0120-14-6404 (平日 10:00~21:00 土・日・祝日を除く10:00~18:00)

〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3

製造元 ツインバード工業株式会社

お客様サービス係 ☎ 0120-337-455 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

注意

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕様

電 源	AC100V 50-60Hz
定 格 消 費 電 力	1200W
容 量	約500ml
製 品 尺 寸 法(約)	幅205×奥行155×高さ195mm (電源ベースを含む)
製 品 質 量(約)	1.1kg (電源ベースを含む)
電 源 コ ー ド(約)	1.4m

- 特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。
こうした場所での使用はなるべくお避けください。
- この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

愛情点検	★長年ご使用の電気ケトルの点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか。	●水もれする。●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。●電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。●蒸気が10分以上出続け、電源スイッチが切れない。●その他の異常・故障がある。